2021年度 私立大学入試

世界史

学校法人 河合塾 世界史講師　坂本 新一

1 私立大学入試の傾向と対策

近年の特徴的な出題傾向として，「世界史の中の日本」「時間軸・空間軸」「史料（資料）・図版・グラフを用いた出題」「ジェンダー」「ヨーロッパ統合」「現代社会の諸問題」などがあげられよう。これらのテーマ・形式は今年度も引き続きみられているが，その中で今回は「現代社会の諸問題」のうち「SDGs（持続可能な開発目標）」を扱いたい。また，今年度（2021年度）は共通テストの初年度であった。私立大学入試にどのような影響が及んだのか注目されるところであり，その点についてもあわせて考察したい。

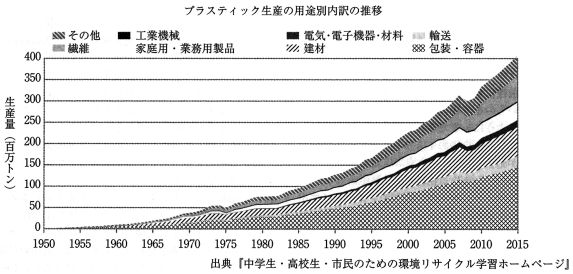
2 SDGs（持続可能な開発目標）に関する問題

■例題1　2021年度 立教大学：2月6日［Ⅰ］

Ⅰ．次の文を読み，文中の下線部1）～17）にそれぞれ対応する下記の設問1～17に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

（略）石油由来の合成樹脂が繊維や容器素材に本格的に用いられるようになったのは，15) 第二次世界大戦後のことである。その後，16) プラスティックの使用量は急速に増加した。現在，世界の海洋には1.5億トンのプラスティックゴミが存在していると推定されており，深刻な17) 環境問題と受け止められている。プラスティック製造に用いられるのは石油全体の10%以下にとどまるとはいえ，EUなどでは2021年に使い捨てプラスティックの流通を禁止することとしている。完全な脱プラスティック社会の実現までの道のりは遠く，この文明の利器との付き合い方には一層の慎重さが求められる時代となっているといえる。

16. この状況を示した以下のグラフを見ると2008年頃に一時的な減少が見られる。その一因として，この頃に発生した世界的な金融危機が考えられる。2008年に経営破綻したアメリカの大手証券会社・投資銀行の名にちなんだ，この金融危機の名をしるせ。



出典『中学生・高校生・市民のための環境リサイクル学習ホームページ』

17. 環境問題に関わる課題は多く，温暖化もそのひとつである。この問題に対処するため，2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において，196の国と地域の合意により採択された協定を何と呼ぶか。その名をしるせ。

正解：16. リーマン＝ショック　17. パリ協定

本問は，古代からの石油資源と人類のかかわりを扱った問題である。下線部15）の問題は割愛したが，2度の石油危機を扱ったものであった。下線部16）では，世界的な金融危機がプラスティック生産にも影響を与えていることをグラフで示しつつ，リーマン＝ショックを解答させている。また，下線部17）ではバイデン政権のもとで正式に復帰したパリ協定についても問うている。

SDGsへの関心の高まりを受けて，環境問題に関する出題が増加している。パリ協定については，後述の**慶應義塾大学**文学部でも出題されているほか，**慶應義塾大学**法学部では内容についての正誤判定問題が出題されている。「2015年にパリで開催された気候変動枠組み条約の第21回締約国会議では，21世紀後半に温室効果ガスの排出量を2000年比で実質半減させる目標が採択された。」という文章を誤文と判断させるもの（正文は「排出量を実質ゼロ」）だったが，『新詳 世界史B』（以下，教科書）p.322の側注にパリ協定の内容があり，この箇所を学んでいれば解答可能である。なお，世界的な金融危機を，限られた授業時間で指導するうえでは，例えば『最新世界史図説 タペストリー 十九訂版』（以下，『タペストリー』）p.273の「グローバル化する経済」や，p.278の「現代を読みこむ」にあるリーマン＝ショックを説

明する図が役に立つだろう。

また，立教大学は，共通テスト導入年にあわせて，入試のありかたを大きく変更した。例年までの学部ごとの入試にかわり，複数の日程で全学部入試を行うようにしたほか，世界史ではマーク式の記号選択問題で「あてはまるものがない場合は，ｅをマークせよ。」として，消去法での解答ができなくなった。そのほか，表・グラフ・図版を以前よりも多く扱った入試問題となっており，共通テストを意識したものと推測される。例えば，２月 12 日入試では，1820 年代から 1920 年代までにおけるイギリスの平均寿命の表を示し，平均寿命が伸びていったことを読み取らせたうえで，そのことに貢献した学問にあてはまらないものはどれかを，公衆衛生学・細菌学・土木工学・分子生物学の中から選ばせている。（分子生物学はもっと後の時代の学問分野であることから，解答は分子生物学。）土木工学については，都市改造，とりわけ上下水道の整備などを想起させるのがねらいと考えられる。

立教大学の受験指導に際しては，例年の過去問よりも 2021 年度の各日程の過去問に取り組むほうが対策として適切であろう。

■例題 2　2021年度 立命館大学：２月３日［Ⅱ］

Ⅱ　次の（A）から（E）は，それぞれ 20 ～ 21 世紀における東アジアの人物について，まとめた文章である。これを読んで，あとの問いに答えよ。

（略）

（C）　1927 年に外交官の娘として出生した彼女は，聖心女子大学を経てカリフォルニア大学バークレイ校で博士課程を修了した。その後，国際基督教大学教員として国際関係の研究に従事しながら，国連日本政府代表部の顧問に参画し，78 年には国連日本政府代表部特命全権公使に就任した。更に 1991 年から 2000 年にかけては，難民の保護や，食料・住居・教育の提供による生活支援などのほかに，難民・無国籍者保護のための条約を締結するよう各国に促進させるなど，③難民問題に関する恒久的で抜本的な解決に取り組む機関の代表者となり，クルド難民，バルカン紛争，ルワンダ難民に対する救済支援で活躍した。2019 年 10 月に没した。

〔4〕（C）の下線部③について，この国連機関代表者の役職名を漢字で答えよ。

正解：〔4〕国連難民高等弁務官

本問は，国連難民高等弁務官を務めた緒方貞子を扱ったものである。難民，食料支援といったテーマへの対策は，2019 年度の『サクラサク入試分析』でも扱ったように，いっそう重要となるだろう。教科書 p.320 の「社会をみる　地域紛争と難民」などを指導の一助にしたい。

■例題 3　2021年度 慶應義塾大学：文学部［Ⅰ］

Ⅰ　以下の文章を読み，空欄（ A ）～（ J ）に最も適切な語句を入れ，下線部（1）～（5）に関する各設問に答えなさい。

（略）自動車については，国内では自動車輸送の担い手不足という問題が近年顕在化しつつあるが，世界的には自動車による環境面への負荷が大きな問題となっている。従来型の自動車は，(5) 化石燃料を動力源としていることから二酸化炭素などの温室効果ガスを発生させ，それゆえ現在深刻な問題となっている地球温暖化に拍車をかける要因でもある。

地球温暖化を巡っては，（略）さらに，2015 年に開催された国連気候変動枠組み条約第 21 回締約国会議（COP21）では，温室効果ガスの排出量を 21 世紀後半には実質的にゼロとすることを目標とし，全参加国が削減目標を５年毎に更新することを取り決めた（ J ）協定が採択された。こうした情勢を受け，各国の自動車メーカーは，走行中に二酸化炭素を発生させない水素や電力をエネルギー源とした，環境への負荷の小さい自動車の開発に注力しており，その開発競争はますます熱を帯びている。（略）

設問（5）　化石燃料の一つである石油に関連し，サウジアラビア・クウェート・リビアによって 1968 年に設立され，1973 年に第４次中東戦争が発生した際，イスラエルの友好国に対して石油の全面禁輸を宣言した組織の名前は何か，記しなさい。

正解：（ J ）パリ
設問（5）アラブ石油輸出国機構（OAPEC）

本問は，古代からの街道の歴史を扱っており，それと関連して自動車やその燃料としての石油，中東戦争，地球温暖化問題について出題している。中東戦争に関連して，パレスチナ問題の史料問題対策としては，『タペストリー』の巻頭 12「特集　人間の権利から見るパレスチナ問題」を通じて多角的な視野を養うと良いだろう。また，今後は環境問題の観点からも中東戦争や石油危機を捉える学習がいっそう求められよう。

3　まとめ

SDGs 関連の出題は，どうしても現代史の知識が要求される。また，こういった観点への慣れも必要であり，現代史・テーマ史への対策が，いっそう重要になるだろう。

共通テスト導入前から，新たな傾向の萌芽は見られており，共通テスト開始によってその傾向は強まった。一方，新型コロナウイルスの流行下で受験生への配慮から大胆な変化を見送った大学もあろう。そういった点で，来年度の私大入試の傾向に注目したい。